

## 五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2022年7月1日

Amazon Style

### Amazon が手掛ける DX アパレルストア Amazon Style

カリフォルニア州ロスアンゼルスダウンタウンから約15キロ北東に位置するグレンデール市で2022年5月25日DXを駆使した初のアパレルストアの実店舗 Amazon Style が開店しました。



Amazon Style 開店直後、私は日本に滞在していたこともあり、なかなか店舗に行けませんでした。やっと今週初めに訪問することができました！

今回のレポートは、現場の写真を交えながらリアルなショッピング体験について紹介させていただきます！

まずは店内の写真をご覧ください。





店内に一步足を踏み入れると最新のデザインやTPOに合わせ、一着ごとにトータルコーディネートされディスプレイされたショールームが目の前に広がります。

Amazon Styleへ入店して最初に行う事は、写真のQRコードをスマホで読み取ります。



コードを読み取ると生年月日、身長、体重、服の上下サイズ、靴のサイズの質問がアップし、ビジネスかカジュアルか試着予定のスタイルについての入力と続きます。

LGBT への理解が進んでいる米国の Amazon らしく性別に関する質問の代わりに日常的に購入している服はレディース用かメンズ用かの選択があります。

さらにそれらの質問に続きアトランダムに様々な 10 種類くらいのファッション・スタイルが画面に映し出されますので、各スタイルについて好みか否かのマークを付けます。

3 分位で一連の作業が終われば試着開始となります。

Amazon Style の店内には 1 階と 2 階に 40 室位の試着室があり、この一号店は手前がレディースで、奥はメンズ用がディスプレイされていました。



入り口のすぐ右側には家族や同伴者がくつろげるラウンジ・スペースがあり



Amazon 商品のピックアップや返品の窓口も設けられています。  
また試着室を必要としない上着や小物を簡単にトライ出来るように鏡も幾つか設置されています。

2階の試着室手前にも大きなラウンジがあり、その後ろには巨大なスペースに商品が並ぶバックヤードが見え、スタッフがタブレット片手に商品を選別しています。（写真⑩）



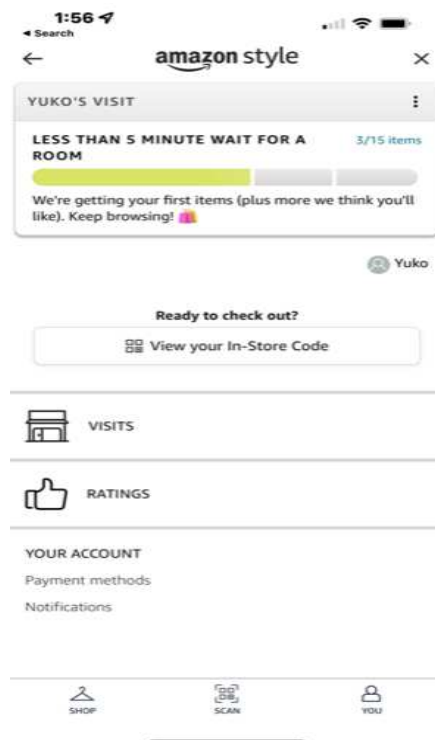
では、試着への流れについて説明いたします。  
店内を歩きながら写真のように自分の気に入ったアイテムの QR コードをスマホでスキャンし、画面上に希望の商品をプラスしていきます。

服だけでなく靴やバッグ等の小物も含めて最大 15 品物まで試着したいアイテムを追加出来ます。

また商品によっては色の選択も可能です。



スキャンしている間に試着室が指定され、“残り時間あと何分で準備可能です”とメッセージが画面上に現れます。



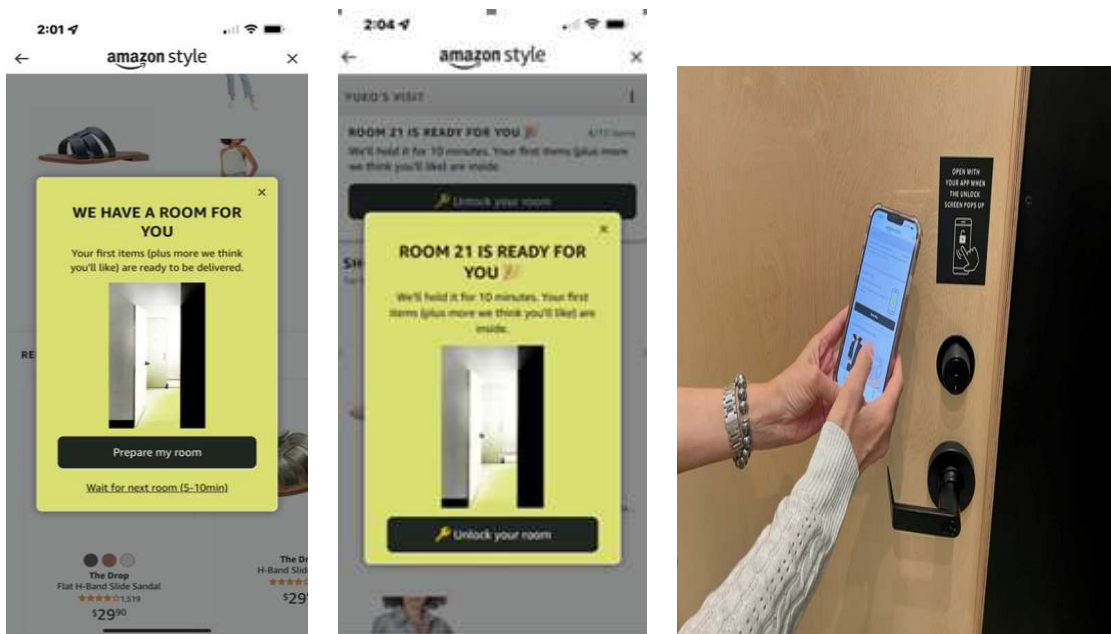
試着に選んだ商品は、事前情報のサイズに沿ってスタッフが各部屋まで届けてくれます。

試着部屋の準備が整えば、写真のように **"We have a room for you (部屋のご準備が出来ています)"** と画面に表示されるので、すぐ下の **"Prepare my room(準備してください)"** をクリックすれば部屋番号が表示されます。

そして部屋の前まで行き **"Unlock(錠を外す)"** を押せばドアを開ける事が出来ます。

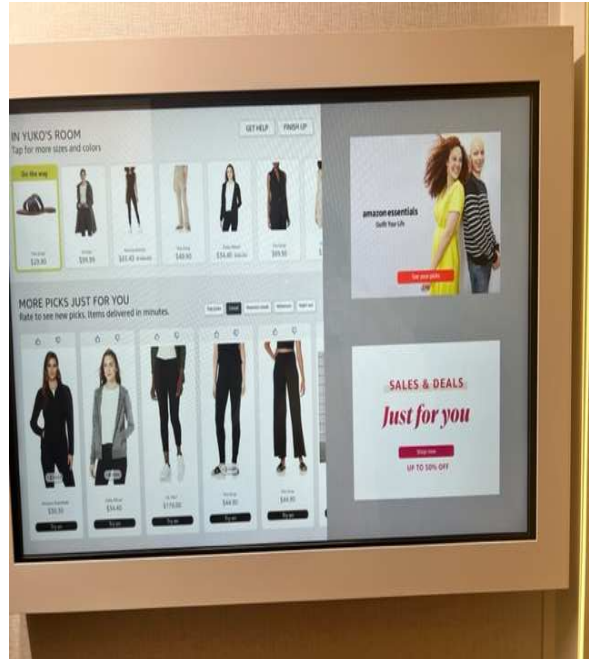
もっと商品を見て回る時間が欲しい場合、先延ばしのリクエストが出来ますが、部屋番号が変わる可能性があります。

仮に先延ばしをしなくても 10 分間はその場所を押さえてあるとの表示があります。



試着室のドアには簡単なイラストと説明があります：

- ① 内部に設置されたスクリーンで試着したい商品の追加が出来ます。  
追加商品はすぐにお部屋にお届けします。
- ② プライバシーの為に、我々がアイテムを運んでいる間は赤いライトが付き  
ドアは閉まっております。
- ③ お好みの商品が見つかりましたか？  
決まりましたら、レジまでご持参ください。



試着室の内部は一般的な米国家庭にあるようなオープンの洋服がけと棚、扉付きのクローゼットがあります。

ゆったりとした空間の室内には椅子も添えられており、同伴者が一緒に入っても十分な広さです。

Amazon Style 最大の特色はこの試着室に届けられる商品です。



ドアを開けると、そこには自分自身が選んだ商品だけではなく、**”We added some picks we think you love (あなたのお好みに合う幾つかのアイテムを選んで追加しておきました)”** とメッセージがありました。

Amazon のアルゴリズムとデータを活用し、個人の為に選定されたアイテムがエクストラに並んでいるのです。

例えば、写真では私が選んだアイテムは、ハンガーにかかっている真ん中の2つの服ですが、それを挟んだアイテムと棚に並んで置かれた上下のインナーは Amazon Style が追加した商品です。

隣の扉付きのクローゼット内には通常、バッグなどの小物を並べるようですが、今回は私が選んだサンダルが置かれていました



普段の自分では選ばない色や形の商品もディスプレイさて、それがとても新鮮でした。

このショッピング体験は、まるで自分専属のファッションスタイリストが傍にいるかのような特別な感覚で、癖になりそうです。



Amazon Style が私にお勧めした商品を含め、この日は2回にわけてインナーや靴など合計で16種類くらいを試着し、最終的には自宅で着るベージュのロングパンツと長袖のブラウスを購入しました。



ブラウスは自分で選んだアイテムですが、もう一つはお勧めから選びました。ラッキーなことにブラウスがセール商品で、\$8安くなって\$16というお得な値段でした。

事前に情報を入力しているおかげで、わざわざ探さなくても自分にあったサイズが並んでいるのはそれだけで良い気分です。

私は試着の数がいくら多くてもワクワクし、面倒は一切感じません。逆に様々な服やアクセサリを身に着けるだけで日頃のストレスを発散することが出来ます。

ちなみにこれは多くの女性にも共通する感覚では？と思います。

私はかつて Amazon のオンラインで購入した洋服のおよそ 9 割を返品しています。

主な理由は、届いた商品を着た時に色や着心地がイメージに合っていなかった事で、やはり身に着けるものは実際に試着しないとわからない事が多いな。と感じました。

今回 Amazon Style で購入した商品は、品質、デザイン、そして価格においても大変満足しています。

購入した商品は Prime メンバーへ無料進呈されるトートバッグに入れて頂きました。



支払いはカード、現金、Amazon Pay そして静脈認証でカードと紐づけし、支払える Amazon One の選択がありましたので、私は手のひらをかざすだけの Amazon One で支払いました。



ショッピング後は、同じモール内の高級デパート Nordstrom が経営する Bar でシャンパンと遅めのランチを食べてから帰宅しました。

ちなみに購入した洋服をその後に持って歩きたくない場合やもう一度よく考えてから購入したいという方には、オンラインで注文して自宅に届けてもらう選択もあります。



新しいショッピング体験で注目を集めている Amazon Style の 2 号店は、今秋にオハイオ州コロンバス市にも開店するそうです。

今後、この Amazon Style の人気が高まれば、他のアパレル小売業界でも同様に、またはそれ以上のイノベーションが生まれる可能性があります。